

事務事業名		鷹生ダム多目的広場維持管理事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造				事業期間	
	施策名	良好な生活空間の創造					
	基本事業名	公園・緑地の整備				単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成14 年度～)	
根拠法令						期間限定複数年度 ☐ 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
所属	部課名	都市整備部建設課				事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 ☒ E 一般(A～D以外)	
	課長名	金野 尚一					
	係名	業務係	電話	27-3111			
	担当者	鈴木 唯斗	内線	312			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 鷹生ダム第1多目的広場は、鷹生ダム周辺環境整備事業の一環として整備が行われたもので、平成7年度から、ダム事業で出た残土により造成し、13年3月にはダム事業による広場の造成が完了した。その後、13年5月には「植栽計画検討会(ワークショップ 50名)」を開催後、その意見をもとに「利活用に係る懇談会(16名)」を開催し、広場の整備方針を決定し、13年8月から14年3月まで広場の整備を行い、14年9月まで芝の活着・養生に努め、14年10月にオープンした。広場の主要施設は、西洋芝11,000㎡、樹木 673本、散策路(L=225m、W=3m)、石ベンチ 80個、築山 1箇所となっている。 オープン当初(14年度)は、付近にトイレ施設がないため、仮設トイレを設置しての維持管理のみであったが、15年度からは新たに広場内清掃及び鹿等の糞の撤去、芝刈り、外周ネットの補修業務を、ダムがある日頃市町内の建設業者に委託していたが、16年度から業務内容、費用面を考慮し、5月から11月まで大船渡市シルバー人材センターに委託している。24年度からは利用期間の拡大を図るため委託期間を4月から11月とした。事業費は、委託料(広場の芝刈り、散水、清掃、草刈り)として支出される。						全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
① 手段(主な活動)		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 維持管理業務日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 維持管理業務日数	日	イ		ウ	
名称	単位										
ア 維持管理業務日数	日										
イ											
ウ											
前年度実績(前年度に行った主な活動) 広場11,000㎡の芝刈、フェンス沿いの草刈、鹿等の糞清掃・ゴミ拾い、散水											
今年度計画(今年度計画している主な活動) 広場11,000㎡の芝刈、フェンス沿いの草刈、鹿等の糞清掃・ゴミ拾い、散水											
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)									
・多目的広場利用者 ・多目的広場		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 多目的広場利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 多目的広場(平場)面積</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	カ 多目的広場利用者数	人	キ 多目的広場(平場)面積	㎡	ク	
名称	単位										
カ 多目的広場利用者数	人										
キ 多目的広場(平場)面積	㎡										
ク											
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
・(多目的広場利用者が)広場をより安全、快適に利用できるようになる。 ・(多目的広場が)良好な状態を維持される。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 多目的広場不具合件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 多目的広場不具合対応率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	サ 多目的広場不具合件数	件	シ 多目的広場不具合対応率	%	ス	
名称	単位										
サ 多目的広場不具合件数	件										
シ 多目的広場不具合対応率	%										
ス											
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)											
公園・緑地が確保されている。											

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	999	756	745	745	756	756
			事業費計 (A)	千 円	999	756	745	745	756	756
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	30	30	30	30	30	30	
		人件費計 (B)	千 円	120	120	120	120	120	120	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	1,119	876	865	865	876	876	
⑤活動指標			ア	日	52	41	41	41	41	
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	人	153	154	50	85	100	200
			キ	㎡	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
			ク							
⑦成果指標			サ	件	0	0	0	0	0	0
			シ	%	0	0	0	0	0	0
			ス							

事務事業ID	0680	事務事業名	鷹生ダム多目的広場維持管理事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

鷹生ダム周辺環境整備の一環として整備された多目的広場が、平成14年10月にオープンしたことによる。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

グラウンドゴルフを中心に利用されている。天候等の影響により利用者数の変動がある。平成23年度～24年度は、東日本大震災以降盛川河川敷が使用できない状況にあったため、大船渡グラウンド・ゴルフ協会が定期的に使用していた。平成27年度～平成30年度は五葉湖畔の集いに行われている、グランドゴルフ大会出場者が利用しているほか、地域公民館等が年2～3回利用している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

利用者からの要望で、鹿を広場に入れないための防護柵(再)設置していたが、所々破損している箇所があった。修繕はシルバー人材センターに依頼済み。

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 鷹生ダム多目的広場を良好に維持管理することにより、快適な都市環境の創造につながっている。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 鷹生ダム多目的広場は、市民に憩いとレクリエーションの場を提供し、福祉の増進及び鷹生ダムの周辺環境の向上に資するため、市で設置したもので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 多目的広場利用者に、広場をより安全・快適に利用してもらう、また、広場を良好な状態に維持すること以外の対象・意図の限定・拡充は考えられない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 広場利用のPRをする機会を増やすことで、成果を向上する余地はあると思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 多目的広場の維持管理を廃止・休止すれば、雑草が生い茂り、鹿の糞が増加するので、利用者は減少しながら、最終的にはなくなり、鷹生ダムひいては大船渡市のイメージダウンにつながる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は大船渡市シルバー人材センターへの委託料(26年度の場合：4月～11月まで)であり、維持管理に要する日数も最低のもので、これ以上の削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) シルバー人材センターへの委託および支払いの事務のみなので、これ以上の削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 使用料については、大船渡市鷹生ダム多目的広場設置管理に関する条例で定めているが、同時に使用料の減免規定もある。広場は主に、市内の地区・地域公民館活動や市内小中学校が教育活動の場として利用されており、これらはすべて全額免除の対象となっているので、条例上は適正化余地はない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
現状維持で継続して事業を実施する。																								

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状維持で継続して事業を実施する。